

BOOK

これからの中国の話をしよう



著者： 原田 曜平

(博報堂ブランドデザイン若者研究所)

刊行： 2013年8月5日

出版社： 講談社

定価： 1,575円 (税込)

目次：

- 第1章 中国を好き嫌いで見るな
- 第2章 「八〇後」をどう見るか
- 第3章 ほんとうの新人類「九〇後」の世界
- 第4章 不公平という不安要因
- 第5章 共産党と民主化をどう読むか
- 第6章 地域が変われば文化も変わる
- 第7章 中国人の金持ちと中間層
- 第8章 中国人が感動する日本
- 第9章 中国人との付き合い方
- 第10章 企業はこんな中国人を雇え
- 第11章 現場に自ら足を運ぶということ
- 第12章 グローバルな世界で
- 第13章 八〇後の子どもが大人になったとき

現場で格闘中の若き論客ふたりだから語れる「ほんとうの話」。

反日教育を受けながらも、どんどん日本の若者たちにライフスタイル、考え方が似てきた中国の若者たち。一方で、彼ら八〇後（1980年代生まれ）、九〇後（1990年代生まれ）と、日本の若者との大きな違いは、人口が多いということ、上の世代より豊かなこと、したがって社会に大きな影響力を持った世代であることです。そのため、これからの中国、これからの日中関係の鍵を握るのは、八〇後以降の世代ともいえるでしょう。

本書では、中国の若者世代を中心としながら、各地域の違い、中国共産党のいま、中国ビジネスで気をつける点と狙い所、中国人との付き合い方など、多岐にわたって2人が語ります。

嫌中、媚中を超えて冷静な議論を。ビジネスマンのみならず、中国に少しでも関心のある人は必読です。

いまとこれからがわかる中国論の誕生です。

著者は、博報堂ブランドデザイン若者研究所の原田曜平。博報堂ブランドデザイン若者研究所は、博報堂内の若者研究組織です